

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2022年1月14日発行 (No.16) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第6波コロナ感染爆発！ 今、福祉の現場で何が起きているのか！

お寄せいただいた声を
ご紹介します！

●第6波コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！状況をお知らせください！

書き込みフォーム

<https://forms.gle/MrdLH9bB1RHiAHUR9>

フォームでは、2点聞いています。



①コロナ感染拡大で、現在、直面している状況・課題・問題点など。②上記の問題を是正するために必要と思われる国や自治体への要望。

①定期的なPCR検査の実施、事業利用者の感染予防を中心とした生活支援のシステム作り
②現場の意見や要望を聞く機会の設定、何かあったときの相談体制の確立
(大阪 障害)

①日々感染がないことを願うばかりです。
②職員の定期的なPCR検査を早急に行なって欲しいです。(広島 保育)

①施設行事や外出などのイベントが出来ない、また、ご家族に会えないことによるご利用者の心身の状況の悪化への懸念。感染拡大が起きた時の行政機関の対応への懸念 職員に自粛制限を長く行ってもらっているが、いつまで続くのかという不安と、ストレスが過度にかかっている状態である。

②しっかりと国民・県民に対し感染対策の徹底を訴えてほしい。感染者が少なくなるたびに規制が緩和され、再度感染爆発を繰り返している。職員やご入居者に感染者が出た場合には、できる限り行政主導でPCRを広範囲にやって欲しい。職員に対していつでもPCR検査が無料で行える体制を整えてほしい。エッセンシャルワークである我々は、帰省や冠婚葬祭への参列すら自粛している状態である。PCRが気軽に受けられれば職員もプライベートで最低限ではあるが必要な行動がとれる。

(岡山 高齢)

①年末年始を経て、園児に感染者が出、濃厚接触者(園児・職員)の自宅待機、園は臨時休園という時期を経、濃厚接触者の中から新たに園児2名の陽性者が判明した。残っている職員で希望保育として再開し始めたが、①なるべくエリアを分ける②手洗い消毒の徹底(今まで園児に行っていなかった手指消毒を、この期間限定で行うことにした)③園内の活動でも状況によっては幼児クラスのマスク着用、④食事のとり方の工夫等、保健所から指導されている内容を行う大変さを、まさに今実感している。特に、子どもや職員がなるべくエリアを移動しない、別クラスと混合保育にならない努力を保健所から言われ、「8時間労働の職員で、11時間の保育に対応するのに混合保育をしないのは、不可能です」と言ってみても、保健所の管轄外の事...一言、「どこも努力されています」。

②感染者が出た時の、自治体としての統一マニュアル保育を再開した時の自治体の支援・サポート体制の整備 究極的には、設置基準・配置基準の見直し、改善。そこが充実していればここまで苦しくないのではないか。

(山口 保育)

①毎日のように、職員や保護者の子どもの学校や職場で陽性者が出たという知らせが入るようになりました。PCRの結果が出るまでドキドキしています。感染者の数が今までとは比べものにならないほど日に日に増えるので、もし職員が濃厚接触者や陽性になったら保育がまわらなくなるのではないかと不安になります。今までに2回休園措置を取った時、職員は1部しかPCR検査をしてもらえなかったのも、そのほかの職員は自分は大丈夫なのか不安でした。無料で受けられるPCRのキッドも取りに行った職員は家族分しかもらえないと言われ、勤務中でとりに行けない職員がほとんどで園内の接触者の結果が出るまで不安でした。(持病のある両親と同居している職員は特に)園で陽性者が出たら職員は全員検査をしてほしいです。

②園内で陽性者が出た時は、職員全員のPCR検査をしてほしいです。(広島 保育)

